

■完成した多目的屋内運動場
くじら公園の前に建設中だった多目的屋内運動場がようやく完成しました。まだ愛称はありませんが、できれば多くの人から愛される名前を市内の子どもたちにつけてもらいたいと思っています。
6月1日から一般開放される同施設は、フットサルコート2面分の広さを有するメインアリーナと、子どもたちが体を動かし遊べる大型遊具を配置したサブアリーナとの大きく2つからなります。以前のコラムで述べたように、この施

■集いの場として
また、今回の施設づくりは以前に述べた「政策の補完性」を発揮させる絶好の機会でもありました。そこで整備にあたっては、スポーツ面からだけでなく、コミュニティづくりの面からもその機能を果たせるものをつくりたいと考えました。具体的には新たな集いの場の創出で



にかほ市長
市川雄次

人が集まればそこには新たなコミュニティが生まれます。それまで出会ったことのない人たちと顔見知りになり、人の輪が広がって行く、しかもその広がりが世代を超えたものであればさらに大きなコミュニティ、多様性のある居場所となっていくはずで、これが家族を連れてやって来る小さな子どもたちのための空間、サブアリーナを整備した理由でもあります。
これまでも竹島潟周辺は、白瀬南極探検記念館や大型遊具のあるくじら公園が、また隣接する高台にはTDKの野球場やサッカー場、屋内野球場や屋内プール、そしてスポーツ宿泊施設などが整備され、多くの人が訪れるエリアとなっていました。今回の施設が世代を超えた人々が集う場として利用されていけば、この一帯は今以上に市民が誇りに思える場所になると思いますし、と同時に市内外の人たちの人気のお出かけスポットになると私は思っています。

新たな集いの場

ある休日のお昼ちよつと前。白瀬南極探検記念館の前に広がる南極広場（通称くじら公園）は小さな子ども連れの家族でいっぱいでした。
大きなくじらのオブジェに子どもを座らせ写真を撮るお母さん。青スジを立て大声を出しながら駆け回る子どもたち。お父さんに下ろしてとせがむ女の子。「転ぶから走るな！」との声は全く聞こえておらず、下りた途端に走りだし案の定転んでしまうその女の子。「だから言ったじゃないの」と無意味な言葉をつぶやきながらその子を抱き起こすお母さん。
お父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、家族のみんなが、人生を歩みはじめた小さな子どもを愛おしそうに眺めるその光景はまさに「平和」そのものでした。

設を建設した理由の一つに、合併協定項目を実現させたいとの想いがありました。しかしながら、その項目の「総合体育館の建設」については市の規模からして相応しくないのではないかと、この疑問を私自身ずっと持っていました。また、市民の間からも総合体育館を望む声はほとんど聞こえて来ず、代わりに多かったのが天候に左右されずに屋外のスポーツを楽しめる施設を望む声でした。
市内には、小出地区にとんがりドームパオやくじら公園に隣接する高台のTDK屋内野球場練習場などがあります。いずれも冬場は予約でいっぱいです。私としては、野球やサッカーなどの競技スポーツのためだけでなく、生涯スポーツを楽しむ人たちが日常的に安心して利用できる場所がもっとあってもいいだろうと思っていました。



皆さん、こんにちは。仁賀保高校野球部です。今年の野球部は1年生が入部してくれただけで、単独チームとして夏の大会に出場することができるようになりました。また、4月から尾留川徹先生を監督に迎え、新体制で大会に挑んでいきます。部員11人と少ない人数ですが、一人ひとりができることをしっかりと頑張っていこうと思います。
今年からの取り組みとして、1人が複数のポジションを守れるよう取り組んでいます。自分の可能性を見出し非常事態に備え、いつも守らないポジションの練習もしています。また、尾留川先生は本荘高校を3度甲子園出場に導いた経験があり、牽制の理想タイムやキャッチャーからのセカンド送球の理想タイムなどを提示し、それに近づくための方法をわかりやすく教えてくださいます。監督だけでなく、コーチの富樫先生も本荘高校で監督を務めていた経験があり、指導者に大変恵まれている

さわやかイレブン 夏の大会に向けて 新体制で始動

Let's enjoy Nikaho together!

WELCOME TO Nikaho

今年度仁賀保高校では、にかほ市内の観光地などを紹介する教材冊子『Welcome to Nikaho』を活用した英語の授業に取り組んでいます。仁高生がにかほ市をよりグローバルに理解し、国内外に発信していくことができるように努めていきたいと思っています。なお本教材は、仁賀保高校の外国語指導助手(ALT)のヨハン・ボタ先生と英語科の職員で制作したものです。
◀市内3図書館でご覧いただけます

ます。
練習は、技術向上と試合に勝つことを目的としていますが、自分たちはそれに加えて楽しんで毎日野球に動いています！夏の大会では、楽しんで自分たちの野球ができるように練習してきたことを発揮し、一つのプレーを積極的かつ丁寧にこなし試合に臨みたいと思います。
地域の皆さまからも応援していただけると嬉しいです！よろしくお願います！



秋田県立
仁賀保高等学校

本校では、ボランティア活動による地域貢献、情報発信力強化による地域の活力向上など、地域課題の解決に向け「自分たちのまちを、未来を、楽しく面白く」していくためのアイデアを形にしていって取り組みを行っています。

